

小田原市の矢作小学校で出前授業を行いました！

2月28日（火）に、当企業団で出前授業を行いました。みずき便り第24号を教材として使っている学校を探していたところ、小田原市にある矢作小学校から、「授業をしてみませんか」とのご提案を受け、今回特別に実施しました。当日は、みずき便り第24号の作成に協力いただいた神奈川県自然環境保全センターも参加していただきました。



今回の授業では、まず、にごった水をきれいにする実験（浄水実験）からはじめました。にごった水の汚れを固まりにする（凝集）、固まった汚れを沈める（沈でん）、細かな汚れをとる（ろ過）の3ステップで泥水をきれいにします。

この仕組みは実際の浄水場と同じです。



ろ過実験の様子→
汚れが沈でんしたあと、上澄の細かな汚れを砂や砂利を使ってろ過します。



右側が浄水処理していないにごり水で、左側が凝集→沈でん→ろ過の3ステップで浄水した水です。

子どもたちもこの変化にびっくりでした。実際の水道水はこれに消毒のための塩素を加えて完成します。

この実験のあとは、「水の循環」をテーマに授業を行いました。地球は水の惑星ともいわれますが実際にはほとんどが海水で、飲める水はごくわずかです。その限られた水は、雨→森→川→水道→下水処理→海→雲→雨というサイクルで地球内を循環していることを学んでもらいました。

この大事な水の循環を守るためには、川や海をきれいにしたり、森を整備することが必要です。今日授業を受けた子どもたちの中から、将来それらに携わる人がでてくるとうれしいですね。